

有明高専だより

第24号
有明工業高等専門学校
〒836・大牟田市東萩尾町150
Tel 09445 ⑧ 1011
印刷・西田印刷所

第13回入学式

轟一郎

桜の花咲き揃い、春の光臨らか
なる本日ここに、有明工業高等
専門学校第十三回卒業式を挙行し、
希望に燃ゆる多くの若人を迎えた
ことは、本校にとり最も慶ばしい
じつである。

学芸を教授し、職業に必要な能力を育成することを目的とした五ヶ年一貫の高等教育機関であり、専門的技術とその裏にある理學とを身につけ、専門的教育を通じて農がん人間性を養い、社会のため有為の人材を育成する機関であります。

本校は昭和三十八年の創立になり、卒業生を社会に送ること八回、卒業生は皆でそれぞれの分野で技術者として社会の期待に応える活躍をしており、本校の評価

轟一郎

轟は大であります。學園の建設にあたり、優れた自然環境を求めるのは当然であります。本校は、萩尾台という独立した丘を由め、東に小岱山、西は有明海を臨んで、霧仙・多良の秀峰を望む風光明媚、しかも古代文化の繁榮を示す弥生時代の製鉄・製陶遺跡とまさに近代的大工業地帯とを指顧する地にあり、教育の環境としてはまれに見る優れたものであります。

この優れた自然環境に加えて、教育に情熱を傾ける教官、立派な設備、よき先輩を持つこの学校に学ぶ諸君は真に幸いであると言わねばなりません。

「本校の生活は先生方の指導を守っていただければ何もむづかしいことはありません。むしろ樂しい学園です。」

諸君、熊本地のあの巨大な石垣を思って下さい。あれも一個一個の石の積上げであります。技術に關する問題もある石垣に似ておらず、一日一日の學習の積上げから成り立っています。毎日の積重ねを矢張り行つならば、本校での學習は決して、むづかしいことはありません。その反面、着実な積上げを怠る場合は學問の習得は非常に困難であります。

諸君は大學入試といつて當面の競争目標がないからと言つて、今

いからこそ、五ヶ年一貫して自分自身の志す専門を、腰を落着けて研究し、太学に劣らない専門の能力と豊かな教養を身につけることができるのです。

学校は講習の場であるが、いわゆる勉強だけの場ではありません。スポーツなどのクラブ活動によつて、不撓の精神力・協力の精神・リーダーシップなど社会人として特に技術者にとって大切なものを体得できるのです。諸君の全員が何れかの体育クラブに加わり、心と体の鍛錬にはげんでいただきたい。

本日御列席のお父さん・お母さんへ申上げます。御子弟の御入学をお心から御祝い申上げます。私共教官・職員は、本日御預けした御子弟が全員、五年後には立派な卒業生として社会に出られるよう努力を傾けます。しかし教育は御家庭との協力がなければ完つることとはできません。どうか平素学校との連絡を密にしていただきよう御願い申上げます。

新生入生諸君、諸君の希望に燃えた心、その初心を忘れないで進もうではありませんか。

一言所感を述べ、入学の式辞といたします。

▼併任▲	教務主事補	学生主事補	漣渡 正樹
教授(電気)	(三菱電機(株))長崎製作所)	武下定四郎	吉武 紀則
会計課長	樋口 武	近藤誠四郎	中里 伸夫
(自治資金会計課長補佐のり)	新谷 一徳	川崎 義則	川崎
事務員(出納係)	高口 一枝		
技能員(実習工場)	中橋 正行		
同(教務係)			
▼異任▲			
教授(一般)	緒方 幸人		
助教授(一般)	渡辺 正樹		
同(化學)	吉武 紀道		
講師(一般)	仁原 元		
同(一般)	荒木 真		
給与主任	富川 嘉之		
▼配置換▲			
総務係(出納係)	白倉 英利		
庶務係(用度係)	山下 政行		
教務係(庶務係)	有田 信明		
用度係(教務係)	田島英三郎		
▼退任▲	川上純一郎		
教授(電気)	新見 三郎		
会計課長	坂本 優		
総務係			
(慶大附属病院業務課長へ)			
技官(実習工場係)			
同(教務係)			
野添 行雄			

人
事

10

讀書がこの自覚を忘れないならば
人間としての基本があります。
讀書は科学技術によって未来社会
の文化を担う青年であります。

阿蘇青年の家
今年は雨に降られて、阿蘇登山
ができなかつたのは残念であった
が、一面、キャンドルの集いに参
加できたのは、本校にとって始め
てのことであった。(学生主事)

桜の花が咲きそれが散ってあわただしい三週間が過ぎた午後、高専大に寄稿の依頼があり、筆校生活が次から次と思い出され無精だと一度はお断りしたもの拙文を送りました。

去る三月三十日金

職員の拍手に送られ、卒業生のように有明高専に別れを告げました

顧みますと昭和四十年四月実習工場係として奉職しました。当時は建設途上で実習工場が竣工したばかりで機械の搬付配置には苦労しました。また道路の大半は雨が降れば田圃のようになり長距離でないと歩かれない程度でした。

建築棟、食堂などが出来て漸次道も良くなり、実習では教材等に色々と苦労してやりと

軌道に乗った学生諸君と共に楽しく勉強が出来るようになりました。

私の四十年余りの機械製作の経験を少しでも多く学生諸君に伝えたいたいと願って懸命に努力をしました。学生諸君も一心に励んでくれました。実習は学生諸君と一緒にやってやれる楽しいものだと思って居ります。一年生及び電気三年生は木型。これは割危に難がしいが、成人し家庭を

持つてから色々と志向が出来て楽しいのです。一年生は特殊機。三年生は歯切り。模型の歯切りは私の苦心のアイデアでした。四年生は空氣マイクロメータの精度実験。五年生はプログラム制御プログラミングの実験。また、卒研の機械製作など色々と思いつかれます。

私もまだ色々と仕事をまだ色々と仕事に励めますようお願い致します。

卒業生の皆様、在学中の諸君長い間色々と有難う御座いました。皆様方の健康と発展を心からお祈りしまして筆をおさめたいと思います。

歩その二

中村安生

興味深く眺めながら足を運ばれ疲れを感じることなく歩が進んで行く。何時まにか高台へと田代が走る。汗ばんだ肌を涼んだ風にならぬながら眺める下界の景色は何ともいえない。木立や家並や川等、色々なものが遠くに近くにと連なって見られ、人間世界の

朝、目を醒ませば布団の中にいる。体温の低下を防ぐ布団、布を作った簾幕、雨露をじのぎ、生活に必要な道具をしまして置く家を作った籠櫛、道具作った籠櫛、他人の作った道具を使いこなす能

力を養成、自然に存在しない物質を作り出す智慧、道具を作った智慧、他人の作った道具を使いこなす能

じ取つて歩いて来た人々は、つらさをねのけ自然の美しさ不思議さを満喫しながら、歩くべき道を作つて歩いて行く。

山頂へ達した時、道中自然の美しさ不思議さを満喫した人も、つらさに先人が既に作つてくれた歩きやすい道を通りながら、つらさに心を占領された人も、途中冒険

のあまり方向も定めず歩き出しきなりながら山頂にどり歩いたりして、汗ばんだ肌を浸んだ風にならぬながら眺める下界の景

色は何ともいえない。木立や家並や川等、色々なものが遠くに近くにと連なつて見られ、人間世界の

